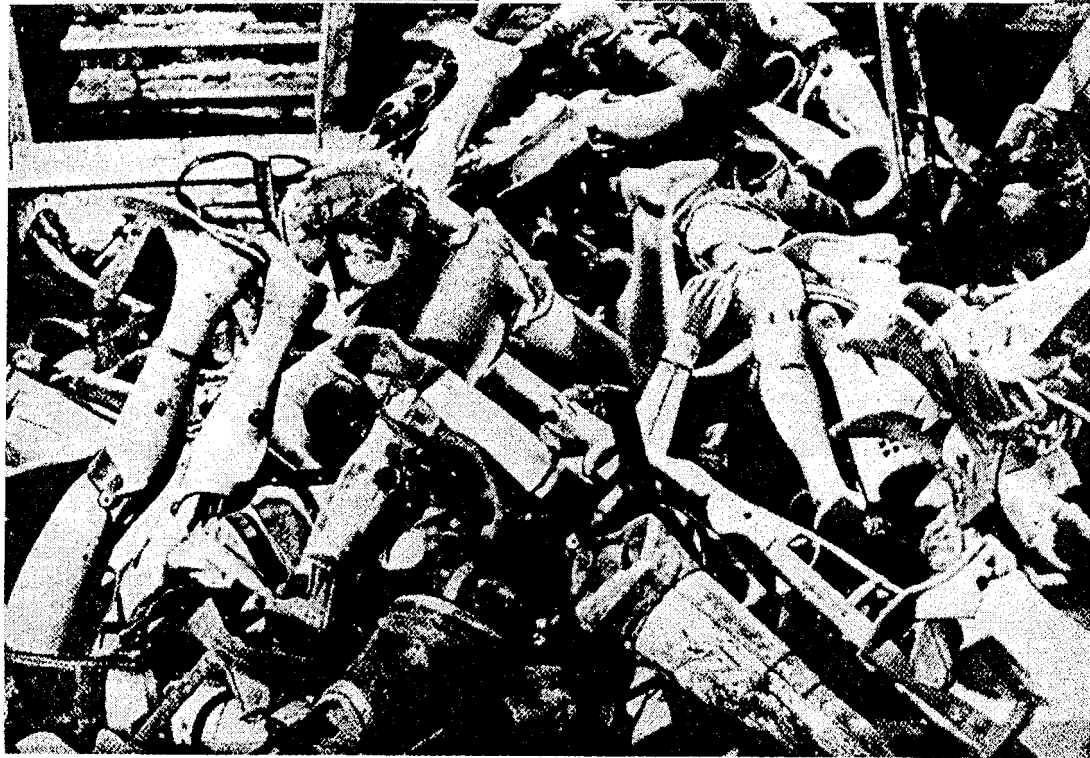


第二次世界大戦中の人体実験



⁵ V.E.フランクル『夜と霧』(1961)

タスキギ—梅毒研究 (米国：1932～1972年)



なぜ研究倫理が必要か？

(その2)

- ・研究者だけでは、研究計画の倫理的妥当性を十分に判断できない可能性があるから
- ・研究者の社会的信頼が大切だから

社会からの信頼 研究参加者の保護

- ヒトを単なる研究手段として用いてはならない
- 研究によるリスクから参加者を保護する必要がある

研究倫理